

鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会
地域ビジョン【概要版】

令和7年3月



鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の地域ビジョン

地域ビジョンとは、ひとまもり・まちまもり協議会がこれからの地域をより良いものにしていくためにはどのように活動すればよいかを示す指針です。将来を見据えたまちづくり活動を行うための体制づくりのきっかけとなるものであり、住民と自治体等が対等なパートナーとして、ともに理想の地域を築くための道しるべです。この度、鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会としての今後のまちづくりの指針となる「地域ビジョン」を策定しました。

■ 地域ビジョン

顔が見える交流を広げ、
自分たちで「住みたいまち」をつくる

鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の
目指す地域づくり

本協議会は、地域の豊かな自然をいかした個性豊かなまちづくりを目指し、さまざまな取組を通じてまちづくりを進めてきました。広いエリアをもつ協議会ですが、各地区のつながりを強め、子どもから高齢者までいきいきと暮らしやすい地域となるよう活動しています。

しかし、幅広い世代が地域とかかわりながら充実した生活を送ることができる地域づくりや、高齢者の移動や買い物に困らないための対策など、解決すべき課題もあります。

今後は、さらに活動を充実させるべく、協議会だけでなく、行政や企業と連携しながら組織づくりを進めていきます。そのためには、若い世代が活動の中心となり、積極的に参加することが不可欠です。活動に参加しやすく、新しいアイデアが生まれやすい協議会にしていきます。

「この地域にずっと住みたい」「自分たちで良いまちにしたい」、そんな思いを持つ人々が集まり、全員でまちづくりに取り組める協議会にしていきます。

■ひとまもり・まちまもり協議会とは

ひとまもり・まちまもり協議会は、多様な人や団体が連携して、住民が力を合わせて主体的に地域づくりを行う新たな地域コミュニティです。地域住民が中心となって、地域の特性をいかながら連帯感を高め、将来を見据えた地域づくりを行っています。自治会を含めた多様な主体や幅広い人材が連携・協力することにより、様々な課題に対して、ネットワークをいかした自主的・効果的な取組が期待できます。

地域ビジョン策定について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するためにワークショップを実施しました。鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の現状と課題についての整理を行い、活動するうえでの活動目標と活動方針を整理しました。

■ 鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の今後の活動目標

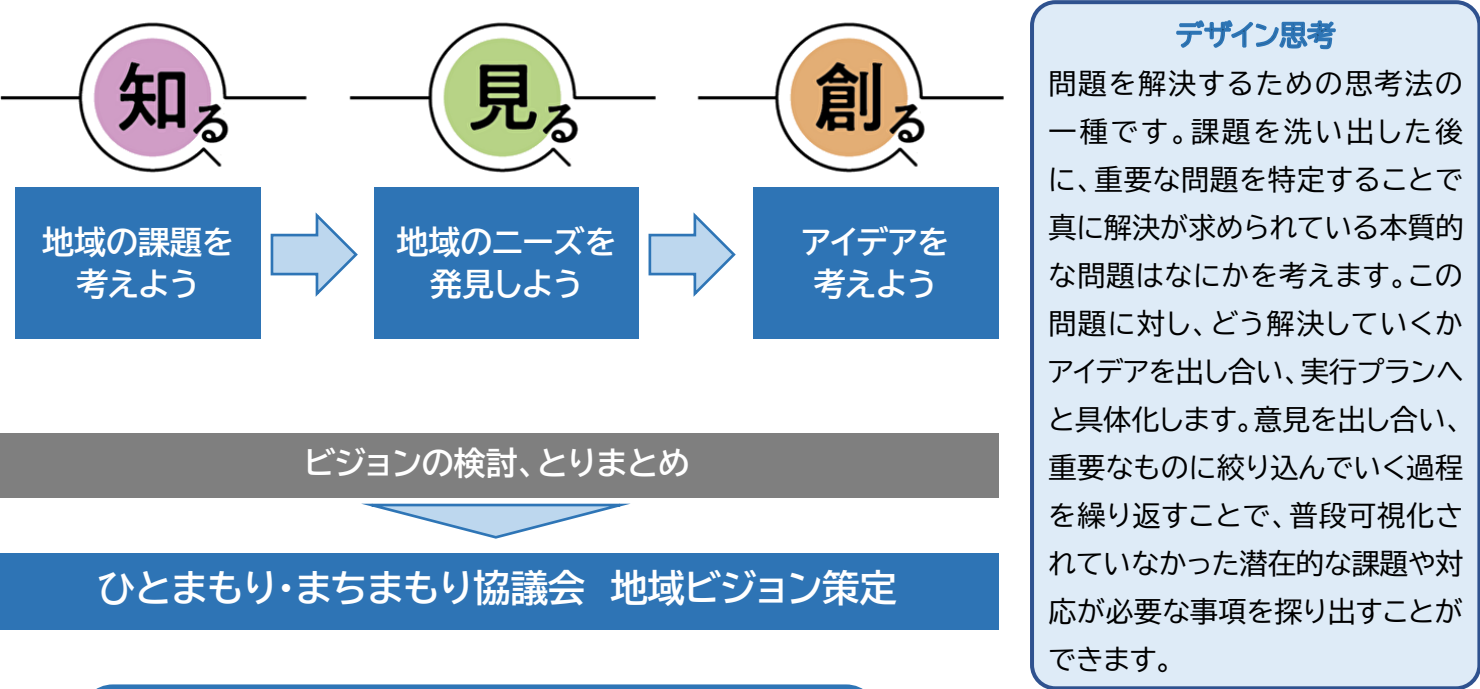
活動目標①	世代間で活発に交流ができる地域づくり
求められていること	●幅広い世代で交流できる場をつくる ●地域活動の負担感を軽減し、参加しやすくする ●子どもが安心して遊べる地域にする ●保護者同士がコミュニケーションを取れる地域にする ●高齢者が元気になる地域にする
活動方針	世代を超えた地域住民同士が、顔の見える関係を築けるよう支援します。幅広い世代の意見を取り入れ、課題や目的を整理し、その解決に向けて一体となって取り組んでいきます。

活動目標②	ずっと暮らせる、ずっと暮らしたいまち
求められていること	●災害に備えた取組を継続する ●観光施設との共生を考える ●交通マナーを教える環境を整える ●お年寄りの買い物手段や交通の問題を解決する ●地域、行政、企業、各種施設で連携する
活動方針	より暮らしやすく、ずっと住み続けたい地域となるために、自治会単位では解決が難しい課題や、行政や企業などの協力が必要な問題に対しても積極的に取り組む組織となります。

活動目標③	だれもが気軽に参加できる取組
求められていること	●参加しやすくなるようにイベントを工夫する ●徒歩圏内で参加できるような仕組みをつくる ●学校と連携し、学校行事を活用する
活動方針	イベントや行事を実施する際には、目的・目標を明確にし、開催後の効果を見据えた取組を行います。魅力的な取組を増やすことで、住民の協議会への参加意欲を高めます。

課題解決ワークショップの開催について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するために、「持続可能なまちづくり」をテーマとし、デザイン思考を用いた「課題解決ワークショップ」を全3回にわたり実施しました。



「課題解決ワークショップ」で出た主な意見

第1回

知る

ワークショップの中で鶴見・南立石・東山地区に潜在する課題を洗い出し、重要度の高い課題は何なのかを考えました。

■ワークショップで挙がった課題

キーワード：少子高齢化	キーワード：交通問題、買い物
実際の意見 ●若い人の働く場所が少なく、地域から出ていく ●高齢化によって古い家や空き家が増えている ●子どもが自由に遊べる場所が少ない	実際の意見 ●近くに買い物ができる場所がなく、移動手段も限られるため高齢者の買い物が大変 ●坂道が多い、道が狭い、車通りが多い ●ごみ収集車や救急車が通れない ●路線バスが使いにくく、タクシーの確保も課題
キーワード：行事、イベント	キーワード：自治会・協議会活動
実際の意見 ●コロナ禍以降、行事がないことが当たり前になってきている ●一過性の効果しかないイベントになっている ●地域交流が少なく、コミュニケーションが難しい	実際の意見 ●次の役員がいらない、若い人はいるが、中心にならない ●行政との連携が必要 ●自治会はサポートとしてかかわってほしい
キーワード：観光	キーワード：その他
実際の意見 ●巨大観光施設とどう共生していくか ●観光客に嫌な思いをさせたくない ●観光客の増加による交通課題	実際の意見 ●地域と企業との連携がない ●由布川峡谷などの環境整備に対応できる人材が不足している ●農業振興地域が残っていて宅地化がしづらい、耕作放棄地の課題

鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の概要

■ 地区の基本情報

設立	令和3年4月1日
構成団体	自治会(鶴見・南立石・東山18自治会)、民生児童委員協議会、社会福祉協議会、青少年育成協議会、小学校、中学校、PTA、老人会、地区公民館、自主防災会、消防団、防災士会、体育協会、(株)東山パレット、東山太鼓保存会、地域包括支援センター
該当地区	鶴見、荘園、扇山、南立石 1区・2区、南立石生目町、南立石板地町、南立石本町、観海寺、堀田、南荘園町、鶴見園町、南立石八幡町、東山1区・2区、枝郷、山の口、城島
面積	約 64.44 km ²
人口	鶴見・南立石・東山地区全体:19,384人 15歳未満: 2,284人 15~64歳:10,453人 65歳以上: 6,647人 (令和6年7月末現在)
高齢化率	34.2%

【別府市内図】

第2回

見る

鶴見・南立石・東山地区が目指すべき姿を考えました。

第3回

創る

鶴見・南立石・東山地区が実際に取り組みたいアイデアを出し合いました。

目指すべき姿

多世代交流が
実現できる組織にする

安心して暮らせる、
暮らしやすい
地域にする

地域の魅力を
いかした取組を
実施する

アイデア A

消防訓練を活用して
企業と協力した
地域づくりが
できないかな？

アイデア B

南立石公園で
お祭りを開催して、
地域の人同士で
顔が見える関係を
つくりたい！

アイデア C

運動会・
夏祭りの開催や
サロンのような場を作り、
関わる人を増やしたい！

アイデア D

子どもが喜ぶ
取組を進めたい！
大人と子どもが教え合う
相互教室はどうだろう？